

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成27年度 第1回
開催日時	平成27年4月24日（金曜日） 午後6時から午後8時30分まで
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：吉田委員長、白井副委員長、齋藤（三）委員、加藤委員、田崎委員 欠席：田村（旧姓:長坂）委員、齋藤（博）委員 事務局：杉山係長、渡邊主査 編集委託（富山）
議題	議題1 第8回企画運営委員会会議録の承認について 議題2 情報誌パリティの編集について 議題3 懇談のつどいの報告について 議題4 平成27年度企画提案事業について
会議資料の名称	第8回企画運営委員会会議録（案） 男女平等参画情報誌パリティ15号作成スケジュール製作工程案 懇談のつどいの報告 男女平等推進センター企画事業
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	<p>（開会）</p> <p>議題1 第8回企画運営委員会会議録の承認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異議なしによって承認 <p>議題2 情報誌パリティの編集について</p> <p>事務局： 製作工程を確認するが、15号の編集会議は6月、8月に予定をしたいがいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に異論はない。 <p>事務局： 6月は11日（木曜日）で8月6日（木曜日）の会議予定とする。なお、加えて16号の編集会議は、1月7日（木曜日）、2月12日（金曜日）としたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・了解 <p>事務局： ・前回会議で、特集記事は男女共同参画週間事業の講演会の内容を掲載すること、メディアリテラシーに関する内容としていたが、講演会2頁ーリテラシー2頁の構成を3頁ー1頁にするのはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大沢、諸橋どちらも著名な方なので、特集とコラムと色分けしたほうが、逆にバランスが良くなると思われる。3頁ー1頁とする。 <p>事務局： インフォメーションの記事で、渋谷区の問題を取り上げることとしたが、渋谷区の条例に</p>

ついでの記事はどう扱っていくのが良いか。

- ・LGBT（レズ、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー）を題材に基本的な内容を記載するのもよいかもしれない。

- ・9月発行と少し間があくこともあり、渋谷区の内容というよりもむしろLGBTの基本を勉強するほうが良い。

事務局：

今回もイラストや4コマ漫画は入れるか。

- ・読んでみたくなる構成として堅いイメージよりはやわらかくする方向性を考えると漫画は賛成、また、イラスト・写真も適宜入れてほしい。

- ・13号・14号は見返してみるとまだ硬い感じが否めない。今号以降について編集委託のドゥ・アーバンの専門性を生かしてさらに工夫をしてほしい。

- ・表紙などの色はブルーかビタミンカラーで、次回のときに色見本で提案する。

- ・「ステキに男女平等のコーナー」には、市内企業・起業の女性を選定するかどうか。

- ・5月15日までに、委員から情報を事務局にあげる、又は事務局の情報網を使って候補をリストアップする。

「パリテ15号の構成の確認」

特集は6月27日の大沢先生の講演会を3頁、コラムに諸橋先生に1頁の寄稿依頼、インフォにLGBT、パリテライブラリーは5月15日までに原稿提出、ステキに男女平等女性の企業・起業家、団体紹介パープルリボン・プロジェクトとなる。

議題3 懇談のつどいの報告について

- ・事務局の報告（省略）

- ・懇談のつどいは、開催してよかったと感じる。

- ・多様な意見が寄せられ、参考になった部分がある。

- ・一つ具体的に話題になったことが、基礎講座・共通講座という文言が登録団体の我々も理解に窮する分類であるし、市民にとってはもっと解りにくい。

- ・講座の分類が、2極に振り分けられるということなので具体的な用語を決めて、それに即した事業にしていくことを考える。

- ・報告が少し時間をとり、懇談の時間が少なかった。会の開催趣旨のメインを懇談にシフトした会であることを次回はもっと認識し、懇談を充実させるやり方がよい。

- ・懇談のつどいは、事務局の開催とするのしたいが、連絡会の必要はないのか。

- ・企画運営委員会が連絡会を主催するというのは違うような気がする。事務局サイドで調整し、活動団体の横のつながりを意識した上で、要不要を検討していく必要がある。

- ・団体の総意を形作るうえで、各活動団体の意向を知る必要がある。アンケートなどを取ることも必要と思われる。

議題4 平成27年度企画提案事業について

- ・4回連続講座アラ還世代の男塾の開催に向けて、今調整中であるが、講座1回目と2回目の講師は地産地育会の副代表に生産者（農家）を巡るものと、地産の食材を使う料理教室をお願いする予定である。3回、4回目は西原自然公園を育成する会代表の方に座学と西原自然公園の散策を交渉中である。

- ・いずれも日程調整が必要であるが、7月中の開催を予定したい。

事務局：

平成27年度の事業予定がほぼ決まってきたが、まだ、未定のものがある。先程の話題になっていた基礎講座が1件と、暴力をなくす運動の週間事業の講演会である。できれば早目に、企画案を煮詰めてもらいたい。

- ・映画会というのは良いかもしれない。
- ・集客を目標にしていける演目を考える。例えば女性の多角的な生き方を示唆した大人気映画をやったところもあると聞いている。
- ・現状の事業内容の構成比を考えると、男女に関連する内容ではあるものの、ストレートに男女平等の原点を問題にした講座が少ない。バランスを考えてそのような講座を実施するのも一考である。ただ委員会の論議により決めていくことではあるので検討したい。
- ・集客にポイントを置くべきなのか、人集めにならなくとも男女平等の原点を説く講座に重きを置くのか、センターの意図するものがよく判らないが、認知度を上げることを考えれば前者と思う。
- ・映画で人を呼べるものはあるが、映画の内容（男女平等に関すること）を考える必要がある。
- ・映画であるべきか、または違うものにするのか。映画ならば映画だけでなく、何か仕掛け（男女平等に関する付加価値）をした方がよい。
- ・たとえば映画の後にワークショップなどをする。
- ・今日は時間がなく、もう少し時間をかけて話をしたい。今結論を出さなければならないか、時間的余裕はあるか。

事務局：

早目に検討するという事であり、時間的猶予は8月一杯と考える。

次回改めて検討する。

次回開催は6月11日（木曜日）午後6時～

以上